

キトラ古墳整備に係る石室盗掘孔の閉鎖等について

キトラ古墳整備に係る石室・遺構面の保護の一環として、石室盗掘孔の閉鎖等の作業を以下の日程（予定）で実施する。

平成25年

9月18日～20日 考古学的調査（墓道部周辺の3D測量等）

9月24日，25日 墓道部埋土（版築）の土層剥ぎ取り

9月30日～10月4日 石室盗掘孔の閉鎖（石製蓋，漆喰による目留め）

＊本格的な整備工程の開始

上記の工程以降，仮設保護覆屋の撤去までに，次の工程を実施する。（平成25年度中を予定）

- ・墓道部周辺を中心に遺構面に保護用の砂撒き
- ・土にてん圧をかけながら埋め戻し
- ・必要な箇所に土のう等でさらに養生
- ・仮設保護覆屋の撤去

キトラ古墳整備に係る石室・遺構面の保護について

1 キトラ古墳の整備等に関する基本方針（抜粋）

1. キトラ整備

(2) 整備の具体的な内容

①墳丘の形状

②石室の取扱い

キトラ古墳の石室は学術上極めて価値の高い文化財であり、保存上の観点から、古墳に残されている状態のまま閉鎖する。

2 古墳整備にいたる手順

キトラ古墳の整備工事のうち仮設保護覆屋の撤去前における取合部周辺での作業手順は次のとおり。

- (1) 盗掘孔の閉鎖（石製蓋、漆喰による目留め）
- (2) 墓道部周辺を中心に遺構面に保護用の砂敷き（数cm厚程度）
- (3) 土にてん圧をかけながら埋め戻し（石室南側、墓道部周辺が隠れる程度）
- (4) 必要な箇所に土のう等でさらに養生
- (5) 仮設保護覆屋の撤去

*一連の作業の前に墓道部埋土の土層剥ぎ取りを実施



石室南側周辺の現状（進入装置取り外し前）



墓道部の発掘調査（平成14年）

石室閉鎖スケジュール（予定）

平成 25 年

5 月～ 現状変更手続

8 月～ 石室閉鎖作業

（2 週間程度）

平成 26 年

1 月～ 仮設保護覆屋撤去

（3 ヶ月程度）